

令和7年度 野田村立野田中学校 働き方改革アクションプラン

野田村立野田中学校では、「野田村立小中学校教職員働き方改革プラン（2024～2026）」に基づき、以下の取組により「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

■ 定量的現状

- ・ 時間外在校等時間が月 45 時間超の教職員
R 6 年度：40 名（全体の 22%） ※延べ数

■ 定性的現状

(1) 教職員の意識

- ・ 当校で推進する 19 時完全退勤の取組が徹底されていない。
- ・ 時間外勤務している教職員が固定化している。

(2) 管理職のマネジメント

- ・ 教職員一人ひとりや各分掌の業務内容を見直し、スクラップアンドビルドの視点をもって対応を行う。

2 目 標

□ 目標

- ・ 教職員 1 人あたりの平均時間外在校等時間 30 時間以下を目指します。
- ・ 振替休暇の取得により休みをとる教職員を 100%にします。
- ・ 19 時以降に退勤する教職員 5 割減にします。

□ 目指す姿

- ・ 生徒への質の高い教育を持続的に提供しうる観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 教職員一人ひとりが、いきいきとやりがいを感じながら業務に取り組んでいる。
- ・ 教職員が、自身や家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 取組内容

取組項目① 教職員の健康管理	取組項目② 学校における業務改善の推進	取組項目③ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進
・ 管理職が、計画的な業務推進と19時完全退勤について積極的に声掛けを行います。 ・ 月の時間外在校等勤務時間が月半ばで平均30時間超になった教職員に声掛けし、健康確保等の観点から業務改善等のアドバイスをします。	・ 管理職が、軽減可能な業務について積極的に提案します。 ・ 運営委員会や行事検討委員会等において内容を精査し、組織的に業務の効率化を図ります。	・ 文書や PTA の会合等で、働き方改革に向けた取組について説明し、保護者理解を図ります。 ・ 学校とスポ少の役割等について、関係団体と協議を続けます。

「野田村立小中学校教職員働き方改革プラン」の目標値

時間外在校等時間	令和 6 年度目標	令和 7 年度目標	令和 8 年度目標
(1) 月 80 時間以上	令和 5 年度実績の 5 割減 R5：0 名 (0%) → R6：0 名 (0%)	令和 5 年度実績の 8 割減 R5：0 名 (0%) → R6：0 名 (0%) → R7：0 名 (0%) を維持する	ゼロ
(2) 月 45 時間超	令和 5 年度実績の 5 割減 R5：43 名 (24%) → R6：40 名 (22%)	令和 5 年度実績の 8 割減 R5：43 名 (24%) → R6：40 名 (22%) → R7：9 名 (5%)	ゼロ
(3) 年 360 時間超	令和 5 年度実績の 5 割減 R5：8 名 (53%) → R6：7 名 (47%)	令和 5 年度実績の 8 割減 R5：8 名 (53%) → R6：7 名 (47%) → R7：3 名 (20%)	ゼロ